

第3章

美幌町地域福祉計画の 基本理念・基本目標

- 1 基本理念
- 2 基本目標
- 3 施策体系

第3章 美幌町地域福祉計画の基本理念・基本目標

1 基本理念

町では、第6期美幌町総合計画の将来像を「ひとがつながる、みらいへつなげる ここにしかないまち びほろ」と定めています。

「ひとがつながる」とは、「人とのつながりを大事にする。人の輪を広げていく。連携を強化していく。」ことを指しています。

本計画では、「ひとがつながる」ことを柱とし、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地位をともに創っていく社会である「地域共生社会」の実現を目指し、次の基本理念を掲げます。

すべての人々が
たがいに助け合い
温かに暮らせるまちへ

2 基本目標

共に生き、支え合う福祉社会の実現を目指し、「たがいに助け合う」・「温かに暮らせるまち」・「安心・安全なまち」を基本目標とします。

～基本目標 1 たがいに助け合う～

【地域福祉を推進する取り組みへの住民参加】

地域で人と人との交わりをもって生活を送るには、住民それぞれが色々な関わりを持ち、思いやりの心、助け合う心を持つことが必要です。

また、地域における多様な生活課題に対処していくために、支え合い、見守り合い、助け合いを基本とした地域の力で解決していくことが求められています。

併せて、自治会組織、子ども、女性、高齢者、障がい者団体やボランティア団体など、さまざまな地域福祉関連の組織・団体間のネットワークの構築を進め、地域情報や人材・技術等の交流を促進し、効率的・効果的な地域福祉の向上を図ることが必要です。

～基本目標 2 温かに暮らせるまち～

【地域における福祉サービスの利用促進】

子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も、すべての人々が住み慣れた町で、安心して充実した生活を送るためには、一人ひとりが身近なところで福祉に関する相談ができる仕組みづくりが重要です。

高齢者や障がい者、子育て支援を必要としている人など、福祉サービスを必要とするすべての人が、身近な地域において自分の意志の下に、自由にサービスを選択し、安心してサービスを受けられるような情報提供システムの構築が求められています。

～基本目標 3 安心・安全なまち～

【地域で誰もが生き生きと安心して暮らせるまちづくり】

住み慣れた地域で、生き生きと明るく健康で安心して暮らし続けることは、すべての人の望みであり願いであります。

町民一人ひとりが、自分の健康状態をよく把握し生きがいをもって生活していくことは大変重要となります。

また、地域の中で、安心で安全な暮らしを続けていくためには、行政の取り組みはもちろんのこと、自治会など地域での見守りや支え合いが重要となり、さらに、災害時は真っ先に要援護者の安否確認をすることができるような、日頃からの地域づくりが求められています。

3 施策体系

【基本理念】【基本目標】

【推進目標】

【推進項目】



